

木津川市地域公共交通総合連携協議会 会議結果要旨

|                               |  |   |              |
|-------------------------------|--|---|--------------|
| 会議名                           | 第 11 回木津川市地域公共交通総合連携協議会  |   |              |
| 日 時                           | 平成 22 年 8 月 27 日 (金)<br>午後 3 時～午後 4 時 15 分   | 場 所   | 木津川市役所全員協議会室 |
| 出席者<br><br>(出席者…■)<br>(欠席者…□) | 委 員  | <p>【学識経験者】</p> <p>■中川 大委員 (副会長・議長)、 ■大庭哲治委員</p> <p>【市民代表】</p> <p>□永松迪哉委員、 □田中英治委員、 □森岡宣之委員、 ■鶴岡由雄委員<br/>■坂本利正委員、 ■中岡武司委員、 ■竹澤哲之委員</p> <p>【事業者】</p> <p>■竹並秩男委員 ※代理：北側真一郎 (西日本旅客鉄道株式会社大阪支社企画課)、 ■白井宏佳委員 ※代理：丹下真理 (近畿日本鉄道株式会社鉄道事業本部企画統括部計画部)、 ■川邊経恭委員、 ■津田秀夫委員<br/>□船橋文人委員、 ■筒井基好委員 ※代理：城南タクシー株式会社所長田畑敏男、 ■武田忠和委員、 ■加藤 隆委員、 ■小森義一委員<br/>■佃 寿己委員、 □吉川益弘委員</p> <p>【行政機関】</p> <p>■西川孝秀委員、 ■足立高弘委員、 ■梅坂 浩委員<br/>■稲垣勝彦委員 ※代理：衣川貴雄 (京都府山城広域振興局企画総務部企画振興室主事)、 ■久保伊佐男委員<br/>■今井一郎委員 ※代理：伊藤恵子 (京都府木津警察署交通課交通総務係長)、<br/>□河井規子委員 (会長)、 □今井洋一委員、 □炭谷育夫委員</p> |              |
| 事務局                           | 鈴木市長公室長、尾崎理事学研企画課長事務取扱、坂元係長、西村主任   |   |              |
| 傍聴者                           | 3 人  |   |              |
| 議 題                           | <p>1. 開 会</p> <p>2. 副会長あいさつ</p> <p>3. 議 事</p> <p>(1) 協議事項</p> <p>①平成 21 年度決算報告について</p> <p>②平成 22 年度補正予算第 1 号 (案) について</p> <p>③平成 22 年度地域公共交通利用促進事業について</p> <p>(2) 報告事項</p> <p>①実証運行の利用状況について</p> <p>(3) その他</p> <p>①次回法定協議会の日程について</p> <p>②その他</p> <p>4. 閉 会</p> |   |              |
| 会議結果要旨                        | <p>1. 開 会</p> <p>事務局より開会を宣言した。</p>   |   |              |

## 2. 副会長あいさつ

中川副会長より、開会にあたりあいさつがあった。

## 3. 議 事

議長から運営内規に基づき、会議録の署名委員として、加藤 隆委員を指名した。

### (1) 協議事項

#### ①平成21年度決算報告について

「No.1 平成21年度木津川市地域公共交通総合連携協議会会計歳入歳出決算書」を用いて、平成21年度の歳入歳出決算内容及び監査委員による決算審査報告について説明し、承認いただいた。

#### ②平成22年度補正予算第1号(案)について

「No.2 平成22年度木津川市地域公共交通総合連携協議会補正予算第1号(案)」を用いて、平成22年度補正予算第1号の内容について提案し、承認いただいた。

#### ③平成22年度地域公共交通利用促進事業について

「No.3 平成22年度地域公共交通利用促進事業(案)」「参考資料 平成21年度地域公共交通利用促進事業業務委託報告書」を用いて、昨年度の取組概要について報告し、引き続き今年度の取組概要について提案し、承認いただいた。

### (2) 報告事項

#### ①実証運行の利用状況について

「No.4 木津・加茂・山城地域コミュニティバスの利用実態について」を用いて、木津・加茂・山城地域での再編前後及び運賃改定前後等の利用状況について報告した。

また、JR木津駅から和東小杉までを運行している奈良交通バス和東木津線が、平成22年10月1日から、JR木津駅・JR加茂駅間で路線休止されることについて報告した。

### (3) その他

#### ①次回法定協議会の日程について

日程が決まり次第調整する旨を説明した。

#### ②その他

オブザーバーである近畿運輸局企画観光部 浪越交通企画課長から、国土交通省平成23年度予算概算要求の内容及び「地域公共交通確保維持改善事業(仮称)」について概略説明があった。

## 4. 閉会

中川委員より、閉会にあたりあいさつがあった。

会議経過要旨

1. 開会

会議結果要旨のとおり。

2. 副会長あいさつ

会議結果要旨のとおり。

3. 議事

(1) 協議事項

①平成21年度決算報告について

会議結果要旨のとおり。

【配布資料】

・No.1 平成21年度木津川市地域公共交通総合連携協議会会計歳入歳出決算書

②平成22年度補正予算第1号(案)について

会議結果要旨のとおり。

【配布資料】

・No.2 平成22年度木津川市地域公共交通総合連携協議会補正予算第1号(案)

【主な意見・質疑等】(○…質疑・意見、▶…質疑・意見に対する返答)

○ 今年度の国庫補助については、昨年度の予算総額69億円に対し、今年度40億円となったことにより、交付決定についても厳しい内容となっているがご理解いただきたい。

③平成22年度地域公共交通利用促進事業について

会議結果要旨のとおり。

【配布資料】

・No.3 平成22年度地域公共交通利用促進事業(案)

【主な意見・質疑等】(○…質疑・意見、▶…質疑・意見に対する返答)

○ 昨年度の山城地域での取組など、きめ細かな事業に取り組む中においても、様々な意見があり、すべてを受け入れることは難しいと思うが、3月議会での決議内容も踏まえ、昨年度の取組は利用促進面で合致していると思うが、今年度具体的なものの提示はどうか。

▶ 議決された内容との合致について、利用促進については、引き続き取り組んでいきたいと考えている。今回の案は、方向性を示しており、具体案については、学識者とも相談しながら進めていきたい。

○ きのつバスは、運賃改定から半年が過ぎ、利用者が減少している状況であるが、激変緩和措置の特別CI-CAの今後の活用も含め、見通しはどう考えているのか。

▶ 特別CI-CAは、9月末で販売が終了するが、この9月に発行する公共交通だよりも、お知らせしているように、奈良交通バスの通常のCI-CAを使えば、例えば、ひまわり利用時間帯であれば、1乗車167円での利用が可能であり、既に事業者が整備されているシステムを活用するなかで、利用促進を行っていきたい。次に、きのつバスの利用見通しについては、利用者が一時的に、3割減という

予想をしているが、運賃改定前後の4か月間の比較では、利用者数で、約2割減となっており、収入予測では、約1.4倍の収支改善を見込んでいる。今後は、当面、7割～8割での利用者推移を考えている。

## (2) 報告事項

### ①実証運行の利用状況について

会議結果要旨のとおり。

#### 【配布資料】

・No.4 木津・加茂・山城地域コミュニティバスの利用実態について

#### 【主な意見・質疑等】(○…質疑・意見、▶…質疑・意見に対する返答)

- 利用実態だけでなく、運行地域での人口の増減による影響について、把握はしているのか。人口規模について、状況を把握することは、持続的にバスを運行していくうえで、重要である。
  - ▶ 人口増減の把握については、昨年度のOD調査報告等の中で含まれていないが、例えば、きのつバス運行区域で人口増が顕著な木津南地区であれば、朝の通学時間帯に、積み残しが出るような状況もあり、人口増に伴う影響でないかと理解している。

他の地域についても、加茂地域で目標としている1路線1日当り利用者10人といったように、一定、地域特性にあった目標を掲げる中で運行をしているところであり、これらも含め、今年度の利用促進事業(案)にあるガイドラインの検討の中で、議論していきたい。
- 人口増のところはいいが、人口減の地域については、将来的にバスの運行をどう考えていくかが必要である。既存事業者との連携も重要であると思う。
- 木津南地区からの朝の混雑については、来年度、木津南中学校が新設されるのであれば解消できる問題である。全体利用者のうち、朝の時間帯の学生利用状況はどのような状況であるのか。
  - ▶ 現在、把握しているのは、平日であれば、1日のうち全体利用者の約1割が学生である。
- 利用者数の推移を見ていると減っている路線では、その要因を把握することが重要である。当尾線については、他路線との影響も含め、来訪者数の把握等を行うなど、要因を把握した上で次の対策を講じた方がいいのではないのか。
- 昨年度取り組んだOD調査等、利用者に対して調査も必要であるが、利用していない方への状況把握も必要ではないのか。

高齢者や観光客等、既存の路線や鉄道との関係も含め、利便性が高まる動向をつかまないと的確な路線設定は、難しいのではないのか。

  - ▶ アンケートについては、平成19年度に、住民・利用者双方のアンケートを実施するなかで、加茂・山城地域については、平成20年11月から再編を行ってきた。

平成20年11月からの再編では、サービスレベルを向上し、便利にすること

|                      |  |
|----------------------|--|
|                      | <p>で利用者を確保していこうという方向性で取組を進めてきており、引き続き、利用動向は重要であるが、手法についても、これまでの経過を踏まえ、引き続き取り組んでいきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ これまでの取組について、理解しているが、例えば JR 木津駅から加茂地域・当尾方面へ向うような、利用者を誘導することによって、沿線の観光開発との兼ね合いも生まれてくるのではないか。</li> <li>▶ 加茂地域については、交通空白地帯等の輸送をどうするのか、また鉄道との連携も含め取り組んでいる。加茂地域では今後も人口減の傾向が考えられる中で、観光面を取り入れながら路線維持を図ることについては取り組んでいきたい。<br/>しかし、実験的な観光だけのルートの設定は難しいと考えており、観光協会とのタイアップということであれば、何ができるのか相談させていただきたい。</li> <li>○ 利用者や市民から意見を聞く場はあるのか。しっかりと利用者等からの意見を聞き、また把握することは重要である。</li> <li>▶ 市では HP を活用し、意見を頂くシステムがある。また、広報紙をはじめ公共交通だよりを発行する中でも、ご意見があれば頂きたい。実際、電話等でご意見も頂いており、様々な方法で、引き続きご意見を頂ければと思っている。</li> </ul> <p>(3) その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①次回法定協議会の日程について<br/>会議結果要旨のとおり。</li> <li>②その他<br/>会議結果要旨のとおり。</li> </ul> <p>4. 閉 会<br/>会議結果要旨のとおり。</p> <p style="text-align: right;">以上。</p> |
| <p>その 他<br/>特記事項</p> |  |